

1. 長野県の現状と課題

【現状】

道路防災総点検（落石、岩盤崩落）の結果、対策が必要な箇所は、2,390箇所になっているが、平成28年度末の対策進捗率は約49%と低い。

【課題】

災害リスクの高い中山間地を多く抱える本県では、地域の安全で安心な暮らしを支えるために道路の防災・減災対策の着実な推進が不可欠となっている。



平成16年10月
至 安曇野市街
(国) 403号 安曇野市～筑北村 矢越防災



平成27年4月
至 浜松市
(国) 152号 飯田市 小道木防災

2. 計画の目標

長野県内の国・県道の防災対策・震災対策を実施し、リダンダンシーの確保と、道路空間の安全性を向上させ、人・モノの移動について安全・安心を確保する。

3. 事業の内容

【計画の期間】 平成23年度～平成27年度（5年間）

【事業実施主体】 長野県

【計画の成果目標】

計画の成果目標	H23（現況値）	H27（目標値）
道路整備により回避される防災危険箇所、及び老朽橋危険箇所の改善箇所	0箇所	30箇所

【事業の主な内容】

- 基幹事業 : 国道の整備 19箇所
県道の整備 20箇所
市町村道の整備（県代行） 7箇所
- 関連事業 : 信号機整備、河川改修
- 効果促進事業 : -

【箇所数と事業費】

	県		市町村	計	
基幹事業	46箇所	211.0億円	-	46箇所	211.0億円（426.9億円）
関連社会資本整備事業	3箇所	2.7億円	-	3箇所	2.7億円（5.5億円）
効果促進事業	-	-	-	-	-
計	49箇所	211.0億円	-	49箇所	211.0億円（432.4億円） 48.8%

※事業費は精算額としているため、整備計画の事業費とは合わない場合があります。
※()内は整備計画の事業費です。

4. 事後評価の結果

【目標値の達成状況】

計画の成果目標	H27（目標値）	H27（実績値）
道路整備により回避される防災危険箇所、及び老朽橋危険箇所の改善箇所	30箇所	22箇所

■ 事業効果の発現状況

・ 防災危険箇所及び老朽橋危険箇所の整備を行った結果、落石、岩盤崩落等の危険箇所の解消、回避ができた他、バイパス整備、道路の拡幅や線形の改良等に伴い、時間短縮にも寄与したと評価できる。

《 国道152号 飯田市 小道木防災での事業効果 》

旧道は落石などの災害が頻発 バイパスの整備で安全で快適に



5. 評価と今後の方針

・ 目標値には達していないが、事業実施箇所では、危険箇所の解消、回避等による安全度の向上が見られ、安全・安心に寄与したものと評価することができる。
・ 災害に強い道路ネットワークを確保するため、今後も計画を継続し、今回の計画で達成できなかった箇所を含めた防災対策を進め、災害に強い道路ネットワークの確保に努めたい。

整備効果事例

事例① （国）151号 阿南町 新野峠バイパス

■ 位置図



■ 整備効果

整備前



落石危険箇所がある上、道幅が狭く、線形が悪いため、安全な通行が困難でした

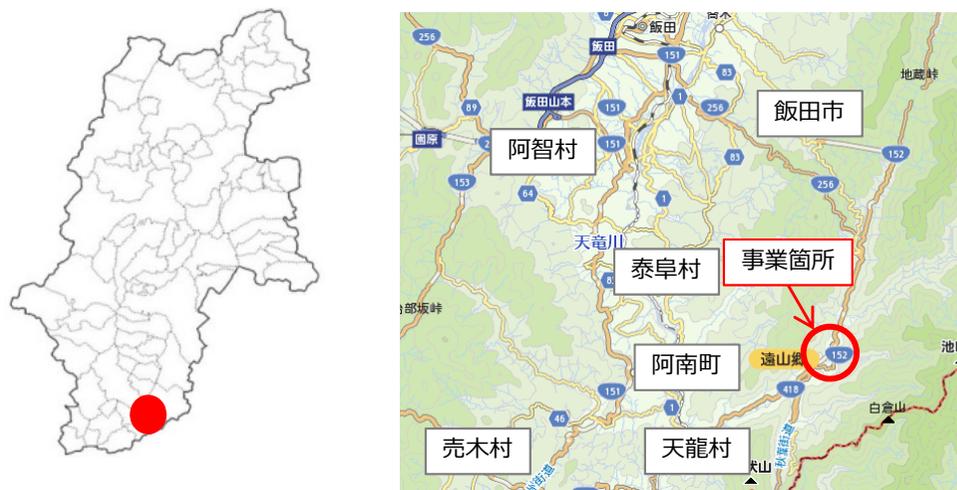
整備後



バイパス整備により、落石危険箇所を回避し、安全で快適な道路になりました

事例② （国）152号 飯田市 小道木防災

■ 位置図



■ 整備効果

整備前



道幅が狭く、線形が悪いため、落石や法面崩落などの災害が頻発する道路でした

整備後



バイパス整備により、落石危険箇所を回避し、安全で快適な道路になりました

整備効果事例

事例③ （国）403号 飯山市 中央橋防災

■ 位置図



■ 整備効果

整備前

整備後



老朽橋である上、落雪により通行車を損傷させる事故が度々発生していました。

落雪事故が解消し、安全で快適な道路環境が確保されました

事例④ （国）418号 天龍村 十方峡防災

■ 位置図



■ 整備効果

整備前

整備後



道幅が狭く、線形が悪い上、土砂流出や落石などの災害が頻発する道路でした

バイパス整備により、落石危険箇所を回避し、安全で快適な道路になりました

整備効果事例

事例⑤ （国）418号 飯田市 飯島拡幅

■ 位置図



■ 整備効果

整備前



道幅が狭く、線形が悪い上、土砂流出などの災害が頻発する道路でした。

整備後



災害危険箇所を解消し、安全で快適な道路になりました

事例⑥ （主）上高地公園線 松本市 上高地

■ 位置図



■ 整備効果

整備前



落石が多く安全な通行に支障がありました

整備後



安全に上高地に通行できる道路が整備されました

整備効果事例

事例⑦ 市道4-116号線 飯山市 小菅

■ 位置図



■ 整備効果

整備前



道幅が狭く、車両のすれ違いが大変危険な状況でした

整備後



道路が拡幅され、緊急車両が安全に通行できるようになりました。